

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-111	Year Month Day Time 2010 年 5 月 5 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 市立船橋 100 ●	<table border="1"> <tr><td>30 1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>22 2nd</td><td>23</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>29</td></tr> <tr><td>30 4th</td><td>33</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	30 1st	22	22 2nd	23	18 3rd	29	30 4th	33	OT		チームB 安城学園 107 ○
30 1st	22											
22 2nd	23											
18 3rd	29											
30 4th	33											
OT												

主審:Referee
久米 克弥 秋田県
副審:Umpire
信太 悦美 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials
能代商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	平 良 彰	大 CAP	11	1	4	0	5	4	／	石 井 駿		0	0	0	0	0
5	×	山 田 侑 樹		25	0	11	3	3	5	×	篠 塚 健		31	3	8	6	3
6	×	出 羽 峻 一		33	2	13	1	3	6	×	木 戸 雄 祐	CAP	12	2	2	2	4
7	×	濱 田 拓 也		2	0	0	2	3	7	×	壁 谷 僚 太		16	1	6	1	1
8	×	貝 沼 雄 介		16	4	1	2	4	8		橋 爪 大 貴		-	-	-	-	0
9	／	中 島 卓 也		9	3	0	0	1	9	／	櫻 井 悠 斗		12	0	5	2	0
10		根 本 奨		-	-	-	-	0	10	／	金 澤 優		0	0	0	0	0
11		小 川 真 司		-	-	-	-	0	11	×	神 谷 健 斗		19	4	1	5	1
12		佐 藤 豪 司		-	-	-	-	0	12		百 武 遥 希		-	-	-	-	0
13		佐久間 大 翔		-	-	-	-	0	13	×	木 全 勇 人		6	0	3	0	1
14		清 水 礼		-	-	-	-	0	14	／	藤 井 京 夢		11	1	4	0	0
15		品 川 剛		-	-	-	-	0	15	／	原 田 京 典		0	0	0	0	0
16	／	西 鶴 大 輔		0	0	0	0	1	16		下 萩 俊 希		-	-	-	-	0
17	／	古 牧 昌 也		4	0	2	0	0	17	／	遠 藤 廣 紀		0	0	0	0	0
18		石 井 竜 也		-	-	-	-	0	18		山 田 将 也		-	-	-	-	0
コ-チ		近 藤 義 行							コ-チ		金 子 寛 治						
ア-コ-チ		井 上 知 徳							ア-コ-チ		前 田 浩 行						
合 計				100	10	31	8	20	合 計				107	11	29	16	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

船橋はマンツーマン、安城は2-2-1ゾーンプレスからマッチアップのゾーンディフェンスでスタート。

1Q、安城は開始早々から#7壁谷が連続得点し好スタートを切る。対する船橋も#8貝沼の3P、#6出羽のリバウンドからのシュートや速攻で対抗する。その後、安城は船橋のマンツーマンを攻めあぐむが、船橋は#6出羽の3P、#5山田のリバウンドシュートで徐々にペースを掴みかける。残り5分、16-9船橋リードのところで安城はタイムアウトを要求。#7壁谷がジャンプシュートやゴール下で奮起するが、船橋も#5山田#6出羽のドライブで加点、さらに#6出羽のブザービーターまで決まり、30-22の船橋リードで1Qを終了する。

2Q、船橋は速い展開から#5山田のジャンプシュートや#8貝沼の3Pなどで引き離しにかかるが、安城も#5篠塚#6木戸の3P・ジャンプシュートなどで追いつき、52-45の船橋リードで折り返す。

3Q、安城は#6木戸の3P、#9櫻井の速攻などで、残り5分のところで58-58とついに追いつく。船橋も#5山田のジャンプシュートで対抗するが、残り2分、安城#11神谷がバスケットカウントを沈めついに逆転。その後一進一退の攻防が続く、70-74の安城リードで最終ピリオドを迎える。

4Q、激しい攻防が続く中、船橋は残り6分と残り5分にタイムアウトを要求し逆転を狙う。船橋は#8貝沼#9中島の3Pと#5山田のジャンプシュートが立て続けに決まり、残り4分のところで90-90の同点とするが、安城#11神谷が3本連続で3Pを沈め、再度引き離す。船橋は最後のタイムアウトを要求、ゾーンプレスを敷き早い攻撃で差を詰めようとするが及ばず、100-107で安城が接戦を制した。